

折に触れ 四字熟語

NO. 117 『一竜一猪』 いちりょう いっちょ

< 意味 > 努力して学ぶ者と怠けて学ばない者との間で、きわめて大きな賢愚の差ができるたとえ。また、すぐれた者と劣った者のこと。学ぶと学ばぬとによって一方は竜となり、一方は豚となる意から。

< 出典 > 韓愈 ^{かんゆ} 「符書 ^{ふしよ}を城南に読む」(詩)

語 釈 : 「竜」は変幻自在で靈妙な才能のある賢者や大成者にたとえ。「りゅう」とも読む。「猪」は豚のことで、無知で愚かな人にたとえる。

一 言 : 漢数字シリーズ その1

「一」から「十」の中で「一」の入った四字熟語が圧倒的に多くあります。やはりすべての始まりですから。「一竜一蛇 (いちりょういちだ)」も同じ意味です。豚も蛇も可哀想な気もしますが。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」